

東京都自立支援協議会 令和2年度協議事項について

第6期テーマ：都と地域の協議会活動における情報共有を促進し、当事者とともに東京の協議会活動を活性化させる

活動の方向性

- 地域自立支援協議会のリアルな情報（地域課題や課題解決に向けた創意工夫等）を収集し、各地域自立支援協議会と情報共有する。
- 交流会・セミナー・動向集（ホームページ）等のツールを活用した、積極的な情報発信を行う。
- 各委員による、地域自立支援協議会や活動のフィールドでの情報収集・情報発信

実施策

- 本会議の他、交流会、セミナー、動向集を活動の柱とする。
- 地域自立支援協議会や各委員が持ち寄る地域課題等から全都的なものを選定し、年間の協議事項とする。
交流会、セミナー、動向集の調査は、年間の協議事項を踏まえた内容で実施する。
- 各委員による実行委員体制とし、交流会、セミナー、動向集の企画から関与する。

令和元年度（1年目）

協議事項：当事者の声を反映させた協議会活動を考える

- 交流会** 障害のある当事者委員や地域で生活する当事者の声を吸い上げるために取り組んでいることや課題について情報共有
- セミナー** 様々な障害のある当事者が、日々の暮らしの中で感じていること等を発表し、ディスカッション
- 動向集** 地域自立支援協議会が、当事者委員の参加や地域の当事者の声を吸い上げるために取り組んでいることや課題を調査

協議会活動への当事者の参加促進や情報発信には、様々なツールが必要だと感じながら、取り組めていないことが多いのではないか。
コミュニティの多様な声を聴く仕組みや方法が進化しなければ、「声を反映させる」にはつながらないのではないか。

令和2年度（2年目）

協議事項（案）：当事者の多様な声を聴くための具体的な仕組みをつくる

- ・協議会活動への当事者の参加促進、情報発信の仕組みづくり
- ・コミュニティの多様な声を聴く仕組みづくり

⇒本会議やメーリングリストでの協議の他、交流会、セミナー、動向集の発行、ホームページを活用し、東京の協議会全体で工夫や知恵を持ち寄り、情報共有を図りながら、協議を進める